

## ブックフェアとは？

横浜市男女共同参画センターでは、3館合わせて70,000冊以上の資料を所蔵しているほか、資料の利用促進、ジェンダーに関する情報提供、及び市民に向けた広報・啓発を目的として、各館でテーマ展示を常時実施しています。

その中で年に1回、識者の方へテーマに沿った選書を依頼し、資料とともにメッセージを展示する、「ブックフェア」という企画展示を行っています。

<過去に実施したテーマ>

2023年度：大人世代のための性教育

2022年度：そんな時、傍らに本を  
(若年層向け資料の展示)

2021年度：今読みたいK文学！

## 今回の展示の目的・内容は？

「情報は力」というスローガンがあります。男女共同参画センターのライブラリの使命は、利用者が自ら必要な情報を選び取り、生きていくための力にさせていただくことです。そのためには、利用者の方が落ち着いて情報に触れられるよう、安心して過ごせる空間が必要です。

今回は、本によってそうした空間を営んでいる全国の書店のご協力をお願いして、本とことばの力で、どのような立場の方でも安心して情報を得られる場がここにあることを発信したいと考えました。

1冊の本に触れたとき、どれほどの人びとの存在と声に、わたしたちは出会っているのだろう。



男女共同参画センター横浜／横浜南／横浜北  
2024年度 ブックフェア（資料企画展示）

## 本がひらく、ともに暮らす世界の扉 展



## どんな書店が参加しているの？

電燈（横浜市神奈川区）  
エトセトラブックスBOOKSHOP（東京都世田谷区）  
本と喫茶 サッフォー（茨城県つくば市）  
シスターフード書店Kanin（京都市左京区）

いずれも、フェミニズム・ジェンダー・セクシュアリティに関する書籍を中心に、あらゆる立場の人びとと「ともに暮らす」ために必要な情報と空間を用意されている書店です。

## どんな展示をしているの？

- おすすめ本を6冊挙げていただき、そのうち3冊には300字程のコメントを寄せていただきました。  
(本だけでなくZINE等も含まれています)
- 書店を立ち上げたきっかけや、店名・ロゴに込められた思い、お店で大事にしていること等、6つの質問に200字のメッセージをいただきました。
- 上記に書店の情報を加えてポスターを制作し、おすすめ本とともに3館巡回展示を行います。



開催期間など詳細は  
横浜市男女共同参画センター  
公式Instagramで！